

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/28号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ロシア、ウクライナ侵攻で乱高下

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週は間違いなく記憶に強く残る一週間になりました。24日日本時間の昼頃、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、それにより地政学リスクはピークに達しました。ゴールドには緊急避難的買いが集まり、朝の1910ドルから午後8時には1973ドルと急騰しました。しかしバイデン大統領がロシアへの経済制裁を発表し、それが市場の予想ほど厳しいものではなかったことをきっかけに、リスクのピークをこえたと市場が判断したのでしょうか、そこから今度は急落。上昇した分よりも大きく1974ドルから一時1881ドルまで下げました。たった一日の間に1910ドルから1974ドルまで上げ、その後、1881ドルまで下げてその後1920ドルまで戻したあと再び1900ドルを割り込み、一週間の終わり値は1888ドルと、おそらく緊張の度合いに飛びついた買い手が、一度下げだすと今度は「やばい」とばかりに買った分を売り戻したのでしょうか。まさに地政学リスクによるゴールドの動きの典型的なものとなりました。地政学リスクで上がった資産は必ずその原因が解決すると上がる前のレベルまで下げる、と業界のトレーダーたちはわかっており、今回もまたその「地政学リスクで上昇したところは売りのチャンス」というパターンになりました。しかし、ウクライナ情勢は解決にほど遠い状況であり、今後もまだ緊張状態が続くそうなので、その進展によっては再びゴールドが買われる可能性も十分にあります。円建てゴールドは先週は歴史的な高値を大きく更新。最新の高値は7276円となりました。その後の急落、一週間の終わり値は7012円となりました。しかし事態はまだ継続中で、ゴールドは大きなボラティリティが続くでしょう。見送られていたSWIFT（世界の銀行間決済システム）からのロシアの銀行の排除も一転して経済制裁に含むことが発表され、週初から波乱がありそうです。

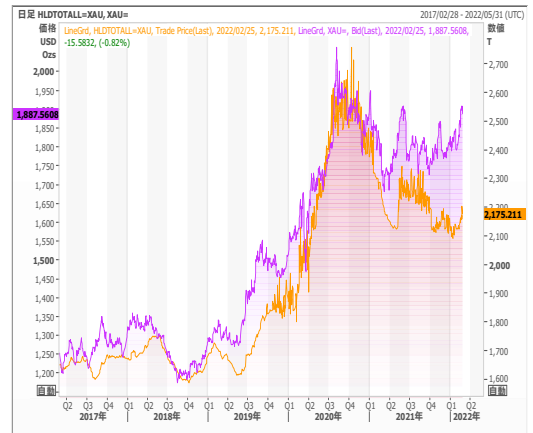
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールド価格の決まり方

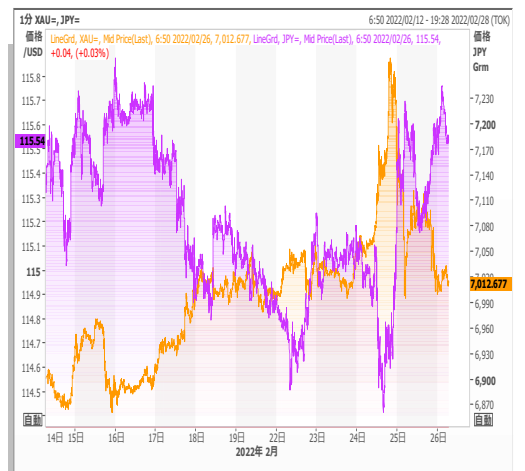
世界の中心は本来ならば Loco London gold marketです。ゴールドとドルの為替であり、ドル円やドルユーロなど、外国為替と全く同じ土俵の市場であり、土日を除く24時間、そのマーケットは成り立っています。しかし、外国為替とゴールドの大きな違いとして、先物市場の影響があります。ゴールドを取引するニューヨークのComexはLoco Londonと並んでほぼ24時間取引をしており、現在ではここでの取引で決まる先物価格がゴールドの価格の中心にあり、Loco London priceも、またそのほかのあらゆるゴールド価格Comexの価格からはじき出されていると言ってもいい過ぎではないでしょう。私がゴールドトレーダーだったころは、Loco London がゴールドマーケットの「標準」であり、ニューヨーク時間帯を除いては、常にLoco Londonが世界のゴールド価格の中心にありました。しかし今やその地位は逆転。Loco London の価格を提示するマーケットメーカーは、その時点のComexの価格からEFP (Comex Active monthとSpot Loco Londonのswap rate) を使ってLoco Londonの価格を出します。そのため、もはやインターバンクと呼ばれたマーケットメーカー中心のロコ・ロンドン・マーケットはほとんど機能していません。参加者が全員、そのプライスをComexに頼っているのであれば、直接Comexを取引する方が圧倒的に効率的であるからです。そのため、さらにComexにすべてのインタレストがまとまるということになり、もはやいわゆる「price finding 価格発見機能」はComexにあるという事実は否定できません。そこから計算したLoco London priceを元に、ほかのゴールド価格は決まっています。我々、日本の金価格も同様です。その時々Loco London gold spot price (ドル建て) とドル円で計算された価格が円建ての金価格です。Loco Londonがドル建てのオンス当たりの価格であるのに対して、日本の金価格は円建てのグラム当たりの価格です。ドル建てを円にして、オンスをグラムに換算しただけなのです。来週は日本の金価格を詳しくみてみましょう。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

